

王子桜中通信

発行 北区立王子桜中学校 校長室

〒114-0002 北区王子2-7-1

電話 5902-3155 FAX 3911-5991

王子桜中学校第13回卒業証書授与式 新たな旅立ち、輝く未来へ！！



卒業式 校長式辞

日ごとに春めいて参りました本日、北区教育長 清正 浩靖 様をはじめ、大勢のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り本校第十三回、卒業証書授与式を挙げてまいりましたことを、心より厚く、御礼申し上げます。

百五十七名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いいたします。今、皆さんに渡した卒業証書は中学校の全課程を修了した証明です。同時に、これで九年度の義務教育をすべて修了したことになります。この長い間、皆さんの今日までの努力と、皆さんを励ましてくださった、ご家族の深い愛情、地域の皆様の方々のご協力、そして、この王子桜中学校の教職員、熱い教えや導きの結晶であることも、心にしっかりと刻んでほしいと思います。

皆さんは人生の中で心身の変化がもっとも大きい三年間を、この王子桜中学校で過ごしました。そして、心も体も立派に成長し、今、学舎を旅立ちようとしています。

卒業式 答辞

長く厳しかった冬もようやく終わりを告げ、春の暖かな日差しが感じられるようになりました。私たち三年生一五七名は、今日王子桜中学校を卒業します。

たくさんの人にお世話になりました。私たちの三年間は、期待と不安を抱えながら臨んだ入学式から始まりました。

一年生の頃は、心はまだ小学生気分、何をしたいかわからず学校、いろいろな物事に対して不安を抱えて生活を送っていました。時には自分では抱えきれず、人や物に当たってしまうこともありました。その度に先生方や先輩方、両親には迷惑をかけてきました。しかし、学校生活を送っていく中で、仲間との友情も深まり、抱えていた不安も徐々に消えていきました。

たくさんの思い出が詰まった修学旅行。事前学習の時から、ドキドキとワクワクが止まらずでした。実際に見る京都の景色や大仏、歴史的建造物は写真で見ると美しく、迫力があり、圧倒されました。班行動ではカタコトの英語で外国人に言いたいことが伝わらなかつたり、集合時間に遅れそうになったりと、大変なこともありました。多くの人に支えられ楽しもうと思いましたが、日間にすることができました。

新しいクラスでみんなの距離がぐっと近くなった体育祭。女子のダンスでは、初めてライオンダンスに挑戦しました。列ごとに全員を動かそうとやるには苦労しましたが、それでもダンス委員を中心に細かい所

「優しく、思いやりのある心」

「優しく、思いやりのある心」王桜中生の「心」を忘れずにこれからの人生を歩んでください。そして、もう一つ、これからの人生に向けて大切なことを話します。それは「夢」を持つことです。先日の平昌オリンピックで、多くの日本の選手が活躍していました。それは、自分の夢の目標を実現するために、力の限り努力したからです。その姿を見て私たちは感動したのです。人は、「夢」目標があるから、がんばれます。成長できるのです。「夢」、目標を持つことを、人生を豊かにさせてくれるのです。

「夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は、必ず実現できる。いつだって忘れたいほどいい。すべて一匹の「ねずみ」から始まったというのを。」これは先日卒業遠足でみんなが楽しんだデイズニワールドという夢の世界を創ったウォルト・デイズニワールドの言葉です。「夢は人生をつくる」といいます。そんな素敵な夢を持ち、夢を語る人になって、人生を歩んでください。

「優しく、思いやりのある心」

まで手を抜かず、何度も練習を繰り返しました。当日はおそろいのTシャツとポンポンを持って、心を一つに踊りまわることができました。今までの努力が実った、最高の瞬間になりました。

二年目の王桜体操。三年男子にとっては責任の重いものでした。去年から始まった新たな伝統を絶やさずさらに発展させなければならなかったからです。そんな雰囲気の中、大きな事を学びました。一つは期日までに何かを成し遂げなければならぬ厳しさです。しかしそんな状況だからこそ、本番の成功で得られた嬉しさは、計り知れないことも経験しました。二つ目は、リーダーという責任の重さや、物事を企画、実行する難しさです。しかし、その重任に耐え、責任を果たすことで生まれる仲間との絆を学びました。

合唱コンクール、Jポップを歌うクラスや、クラシック曲に挑戦するクラスなど、歌のクラスの個性が色濃く出ていました。時にぶつかり、時に悲しみ、時に励まし、時には笑い、そんな二週間の練習の中で、クラスの団結力が更に強くなりました。そして本番では、それぞれの個性が歌声に乗って会場中に響きました。あの独特の空気と感動は今でも覚えています。

部活動ではたくさん泣いて、たくさん笑いました。どんな時も仲間がいたから、つらかった練習も勝った試合も全てが大切な思い出です。そして、指導してくださった先生、応援してくださった保護者の方々、練習を共にした先輩、多くの人に支えられていること

「優しく、思いやりのある心」

「優しく、思いやりのある心」王桜中生の「心」を忘れずにこれからの人生を歩んでください。そして、もう一つ、これからの人生に向けて大切なことを話します。それは「夢」を持つことです。先日の平昌オリンピックで、多くの日本の選手が活躍していました。それは、自分の夢の目標を実現するために、力の限り努力したからです。その姿を見て私たちは感動したのです。人は、「夢」目標があるから、がんばれます。成長できるのです。「夢」、目標を持つことを、人生を豊かにさせてくれるのです。

「夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は、必ず実現できる。いつだって忘れたいほどいい。すべて一匹の「ねずみ」から始まったというのを。」これは先日卒業遠足でみんなが楽しんだデイズニワールドという夢の世界を創ったウォルト・デイズニワールドの言葉です。「夢は人生をつくる」といいます。そんな素敵な夢を持ち、夢を語る人になって、人生を歩んでください。

「優しく、思いやりのある心」

思い出は尽きませんが、私たちは今日卒業します。今まではお別れでくれたクラスの仲間や先生とも今日でお別れです。私たちが今日こうして卒業式を迎えることができたのは、今まで多くの方が支えてくださったからです。事務の先生方や主事さん方、清掃や修繕をしてくださり、地域の皆さんは私たちを見守ってくてくださいました。栄養士の先生や調理師さんは、常に私たちの健康に気を配ってください、美味しく栄養満点の給食を作ってくださいました。ありがとうございました。

そして先生方は、受験という大きな壁を乗り越えられる不安だった私たちのことを、いつも真剣に考えてくださいました。弱音を吐いてしまっていた私たちに励まされ続け、一番身近な存在でした。困らせてしまうこともたくさんあったと思いますが、ですが、先生方は最後まで私たちのことを信じ続けて指導してくださいました。本当に感謝しています。

最後になりましたが、お父さん、お母さん、いつもは照れくさくて感謝の気持ちが伝えられないけれど、今日は伝えます。十五年間私たちを育ててくれてありがとう。これからも受ける不安とプレッシャーでどうしようもできなくなった気持ちもぶつつかしてしま、悲しませてしまったこともあったと思います。それでも私たちの強い味方でいてくださいました。これからも心配をかけ悩ませてしま

「優しく、思いやりのある心」

「優しく、思いやりのある心」王桜中生の「心」を忘れずにこれからの人生を歩んでください。そして、もう一つ、これからの人生に向けて大切なことを話します。それは「夢」を持つことです。先日の平昌オリンピックで、多くの日本の選手が活躍していました。それは、自分の夢の目標を実現するために、力の限り努力したからです。その姿を見て私たちは感動したのです。人は、「夢」目標があるから、がんばれます。成長できるのです。「夢」、目標を持つことを、人生を豊かにさせてくれるのです。

「夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は、必ず実現できる。いつだって忘れたいほどいい。すべて一匹の「ねずみ」から始まったというのを。」これは先日卒業遠足でみんなが楽しんだデイズニワールドという夢の世界を創ったウォルト・デイズニワールドの言葉です。「夢は人生をつくる」といいます。そんな素敵な夢を持ち、夢を語る人になって、人生を歩んでください。

「優しく、思いやりのある心」

後輩の皆さん、私たちを支えてくれてありがとうございました。私たちが皆さんの良いお手本となれていただければ幸いです。私たちが何かを学び取っていただけだったら嬉しいです。来年度からは、二年生が中心に動いていきます。後で一年生は、新しい三年生を支えつつ、後輩の手本とならなければいけません。皆さんで、王子桜中学校の伝統を残しつつ、さらに発展させていってください。

笑顔があふれる王子桜中学校

さようなら
行事に全力で取り組む王子桜中学校
さようなら
先生と私たちが
信頼で結ばれた王子桜中学校
さようなら

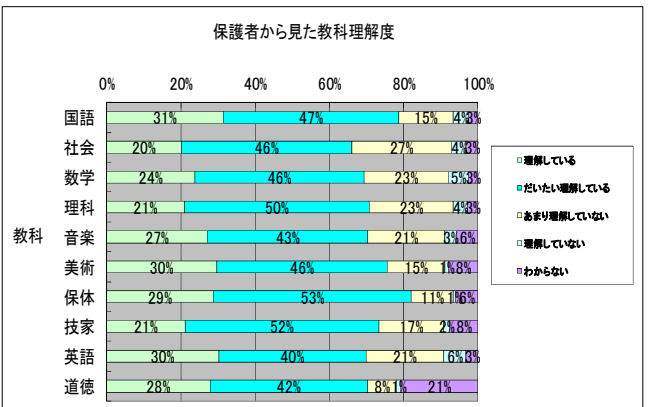
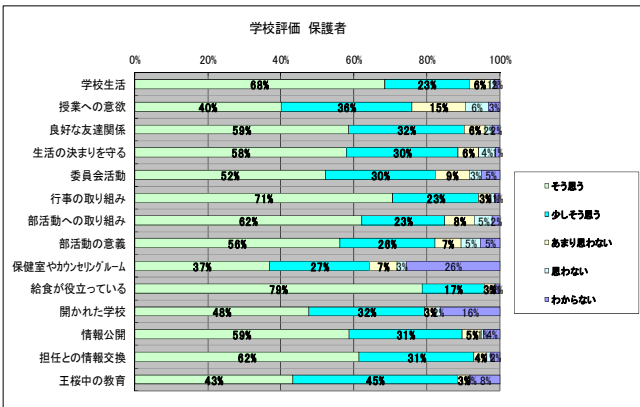
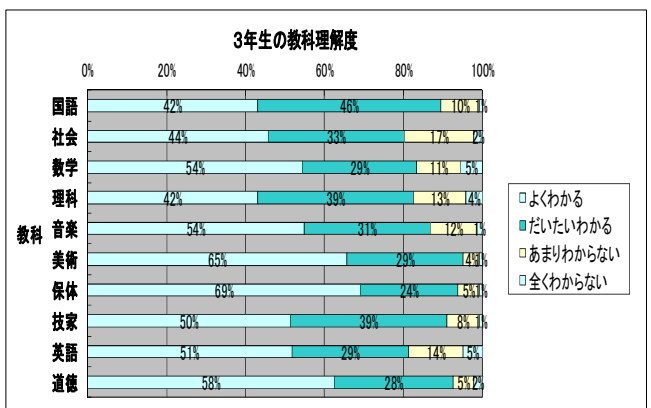
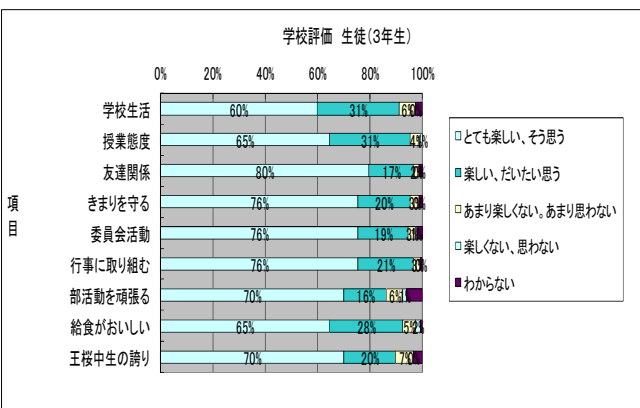
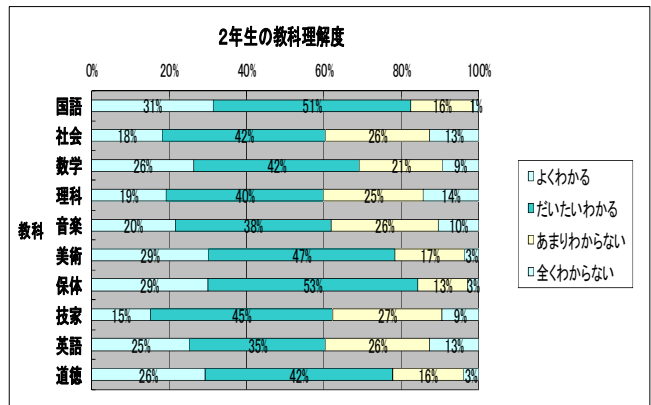
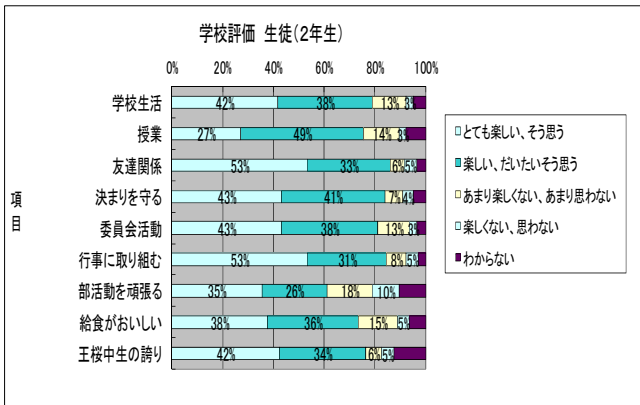
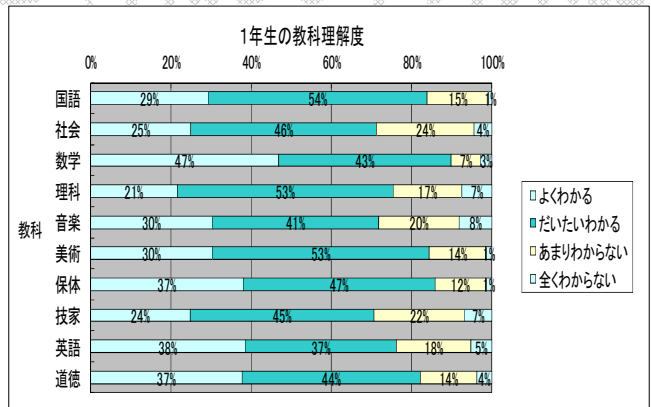
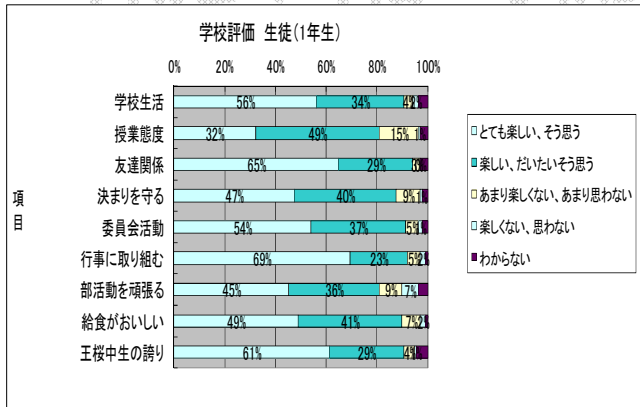
今までお世話になった全ての方々へ感謝しながら、私たち三年生は今日の学校から立ちます。王子桜中学校卒業生という誇りと、ここで過ごした三年間の大切な思いを胸に、新たな世界へ歩を進めます。

最後に私たちの母校、王子桜中学校の益々の発展を祈り、答辞とさせていただきます。

平成三十年 三月十九日
第十三回 卒業生代表
松本 朔希
渡辺 由來
薄上 菜々子
新 幸真



平成29年度 学校評価 (平成30年1月実施)



【学校生活】生徒の9割近くが「学校生活が楽しい」と感じている。さらに楽しく、一人一人が活躍できる学校生活を送れるよう、教育活動の充実に努力していきます。【学習指導】生徒の授業に望む態度は8割強が「真剣に取り組んでいる」と答えている。昨年度と比較するとほぼ全教科の理解度が上がっている。授業規律も良いがさらに生徒が興味・関心を持ち意欲的に取り組む授業を展開し、指導方法の工夫・改善へ向けて努力していきます。【学校生活・特別活動・行事】良好な友達関係、決まりをよく守り、委員会、係活動、行事、部活によく取り組んでいる。さらに充実した学校生活を送るよう取り組ませていきます。

【その他の教育活動】○教育相談体制について、学校生活や様々な家庭環境から来る心の悩みをしっかりと看取るカウンセリングの充実に向けてさらなる充実を図っていきます。○給食について、生徒の85%が美味しいと答えている。食育の充実が求められている今、給食を通して心身の健全育成に努力していきます。○開かれた学校・情報発信について、月1回以上の参観日について保護者の8割が適切と答え、情報発信については9割が適切と答えている。更に充実を図っていきます。○王桜中で学ぶ生徒としての誇りについて、多数の生徒が王桜中で学ぶ誇りを持ち、愛校心があり、保護者の9割が王桜中の教育活動に理解をし、見守りいただいている。より多くの生徒、保護者が、王子桜中で過ごして良かったと思われるような教育活動を今後も進めていきます。